

平成26年度は、専門部長として、多久高校の永田彰浩校長先生を迎え、田中弘幸(三養基)、末次広人(佐賀工)、樋口義朗(多久)、小川高明(鳥栖工)の4人の先生方を専門委員とし、武末良樹(鳥栖工)が専門委員長として各大会を実施することになりました。

昨年度の新人戦から今年度の全国選抜クライミング選手権大会まで、それぞれの大会が無事に行われました。県内においては、昨年11月に黒髪山系での新人大会、6月の多良岳・経ヶ岳・虚空蔵山で県総体が予定通りに行われました。7月の九州大会においては、宮崎県の霧島山系で開催され、8月の全国大会では、神奈川県箱根山系で開催され、今年11月には、2007 青春・佐賀総体以来の浮嶽山系での新人大会でした。

クライミングにおいては、小学校から頑張っていた女子選手たちが高校生になり、高体連との共催の県・九州・全国の各大会に参加するようになりました。

以下、報告をいたします。

新人大会

- ・期 日 11月2日(土)・3日(日) (1泊2日)
- ・会 場 武雄市・有田町
黒髪山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工
佐賀農 唐津東 多久 (6校)
(女子) 佐賀北 唐津東 多久 (3校)
- ・参加者 男子40名 女子11名 計51名
- ・コース 2日 乳待坊いこいの広場キャンプ場[開会式]
縦走競技：いこいの広場キャンプ場ー見返峠ー黒髪山ー蛇焼山ー後の平ー二俣ー見返峠ーいこいの広場キャンプ場
ペーパーテスト、医療審査、天気図審査
幕営審査等 (いこいの広場) [幕営]
3日 縦走競技：いこいの広場キャンプ場ー有田ダム登山口ー前黒髪ー西光密寺ー見返峠ー青螺山ー青牧峠西ー牧ノ山ー青牧峠西ー竜門ダム[閉会式]

2日 乳待坊いこいの広場キャンプ場に集合し、開会式後、ペーパーテストを経て、縦走競技を実施し、見返峠を目指し、九州自然歩道を西へ登り、黒髪山、蛇焼山を周回するコースを経て、再び見返峠からいこいの広場キャンプ場へ戻ってきました。途中、体力、歩行技術、読図の審査を行いました。縦走競技終了後、同キャンプ場で装備検査を行い、医療審査、天気図審査、幕営・炊

事の審査を行いました。

3日 朝5時に起床したが、夜中からの雨のため予定通りの計画を断念し、いこいの広場から縦走をスタートしました。以下、予定を変更した行程です。

- ・コース 3日 縦走競技：いこいの広場キャンプ場ー見返峠ー西光密寺ー前黒髪ー西光密寺ー見返峠ーいこいの広場キャンプ場

前日と同じコースで黒髪山手前の分岐まで登り、そこから直進し西光密寺を経て、前黒髪を往復するコースでした。逆走で、往復するコースとなったため、読図担当の審査員も相当苦勞して審査する地点を選定していました。例年の登山大会では、雷が鳴らず、多少の雨であれば行っていたが、ここまで変更することは県内大会では珍しいことでした。雨が降る中でコースも変更したことで新人大会でもあり、1年生をはじめとしたあまり経験の少ないチームにとっては厳しい大会となりました。何とかいこいの広場キャンプ場に戻ってきて、閉会式となりました。

成績は、男子は佐賀工業が優勝し、以下三養基が続きました。女子は久しぶりに三つ巴の大会となり、唐津東が初優勝しました。

総合成績

- 男子 1位 佐賀工業A
2位 三養基A
3位 佐賀工業B
- 女子 1位 唐津東
2位 佐賀北
3位 多久

第4回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 佐賀県予選会

- ・期 日 11月9日(土)
- ・会 場 多久市
多久高校クライミングウォール
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 佐賀工 多久 (3校)
(女子) 多久 (1校)
- ・参加者 男子36名 女子4名 計40名
- ・カテゴリー エキスパート リード1ルート
ミドル リード1ルート

男子については、高体連共催になっている第4回全国高校生選抜クライミング選手権大会の予選を兼ねている

ため、佐賀工3年生が2名参加し、総勢36名で大会が行われた。昨年は荒天に泣かされましたが、予定通り全国大会につながるエキスパークラスと、競技を浸透させるためのミドルクラスを開催しました。エキスパークラスには、日ごろから積極的に練習している佐賀工業の選手が出場し、ミドルクラスには、佐賀工業の下級生と多久・鳥栖工業の男子選手と多久の女子選手が出場しました。エキスパークラスでは、成長著しい小寺遼(佐賀工2年(当時))、ミドルクラスでは、牧野内光(多久高1年(当時))が優勝しました。女子については、昨年同様、2名の参加で、渡邊那津美(多久高2年(当時))が優勝しました。

成績

男子	E1位	小寺 遼	(佐賀工2年(当時))
	E2位	奥野 孝太	(佐賀工3年(当時))
	E3位	福島 慎也	(佐賀工2年(当時))
	M1位	牧野内 光	(多久高1年(当時))
	M2位	江頭 雄大	(佐賀工2年(当時))
	M3位	北島 侑起	(佐賀工1年(当時))
女子	1位	渡邊 那津美	(多久高2年(当時))
	2位	野口 春奈	(多久高2年(当時))

第4回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

- ・期 日 12月22日(日)・23日(月)
- ・会 場 埼玉県加須市
加須市民体育館
- ・参加校 (男子) 佐賀工
- ・参加者 男子2名
- ・カテゴリー 高校生男子左右2ルート

高体連共催になり、11月のクライミング選手権の成績をもとに、佐賀県から2名の選手が参加しました。昨年に引き続き、全国の壁は厚く。佐賀県の選手たちも懸命にトライしたが、予選ルートで敗退しました。

成績

男子	奥野 孝太(佐賀工3年(当時))
	Aルート 26+ Bルート 19+ 38位/91人
	小寺 遼(佐賀工2年(当時))
	Aルート 26+ Bルート 15.5 52位 91人
	団体(上位2名の成績による団体戦)
	12位/28校

県高校総体

- ・期 日 5月30日(金)～1日(日)(2泊3日)
- ・会 場 太良町・鹿島市・嬉野市
多良岳・経ヶ岳・虚空蔵山山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工
多久高 唐津東 佐賀農(6校)
(女子) 佐賀北 多久高 唐津東(3校)
- ・参加者 男子54名 女子16名
- ・コース 1日 中山キャンプ場[開会式]
縦走競技(特区间)－多良岳(ゴール)
－金泉寺(隊行動)－中山キャンプ場
[幕営]
2日 中山キャンプ場－中山越－平谷越－経ヶ岳－釜伏山－岩屋越－奥平谷－広川原キャンプ場[幕営]
3日 広川原キャンプ場＝不動山バス停－木場新道分岐－虚空蔵新道分岐－虚空蔵山－小爪峠－木場新道分岐－不動山バス停＝嬉野市公会堂[閉会式]

5月30日(金)10時、中山キャンプ場で開会式を行い、式後に全員によるペーパーテスト(登山知識について)を行いました。昼食後、そこから多良岳まで特区间(チームによるタイムレース)を実施し、金泉寺までパーティ(各校選手のみ)で下り、金泉寺から隊行動で中山キャンプ場まで下りました。天候は晴れで、気温は前日から上昇傾向であった。男子は伝統校で強豪の鳥栖工の選手2人が、熱中症に襲われ、大会役員を慌てさせ、意識は回復したものの、1人は急遽家に帰すという対応をとった。その中で佐賀工が安定した力を発揮し、三養基もそれに続いた。女子は唐津東がトップでゴールしました。中山キャンプ場に戻り、装備審査、各校代表による気象審査(天気図作成)・医療審査(ペーパーテストと医薬品装備審査)、幕営審査、炊事審査が行われ、夜9時には消灯となりました。

31日(土)には、4時30分に起床し、6時00分集合し、中山キャンプ場から、各隊の隊長が率いてまず経ヶ岳山頂を目指します。中山越までに、多久高の男子選手が額を切り、救急車で病院に搬送という事態が起き、男子隊にとっては厳しい大会となった。その後は平谷峠経ヶ岳を経て、釜伏山で昼食をとり、岩屋越を超え、ゴール地点である奥平谷に到着しました。コースの途中で

は、読図審査(現在地が地図上でどの位置にあるのかの確認)、審査員による登りでの体力審査、下りでの歩行審査を実施しました。監督の車に乗る前に、装備検査を行い、広川原キャンプ場に向かい、幕営審査、炊事審査先を行い、就寝となりました。

1日(日)も、5時に起床し、6時30分集合し、広川原キャンプ場を7時前に出発し、虚空蔵山の麓である不動山バス停に車で向かい、そこから縦走競技のスタートとなりました。天候もよく、虚空蔵山に登り、不動山バス停に戻りました。昨日と同様、読図審査、体力審査、歩行審査を行い、嬉野市公会堂向かい、閉会式を行いました。

男子は、鳥栖工・多久のAチームが棄権と前代未聞の事態がおき、改めて救急体制の大切さを痛感した大会となりました。その中で佐賀工業が3年連続の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を、2位は久しぶりに三養基が九州総体の切符を手にししました。女子は、2年連続で4人チームが3校そろい、唐津東が新人戦に続き、初優勝し、九州総体、全国総体への切符を手にししました。

成績

男子	1位	佐賀工業(九州・全国大会出場)
	2位	三養基(九州大会出場)
女子	1位	佐賀北(九州・全国大会出場)
	2位	唐津東
	3位	多久

第57回全九州高等学校登山競技大会

・期 日 7月4日(金)～7日(月) (3泊4日)

・会 場 宮崎県 霧島山系

・参加校 男子A隊 7校

男子B隊 7校

女子C隊 6校

・出場校の選手・監督

男子A隊 佐賀工：下川 雄也 江頭 雄大

今泉 友佑 仁田原 樹

監督：末次 広人

男子B隊 三養基：陣内 龍馬 井手 翼

鮎川 拓也 林田 晴樹

監督：田中 弘幸

女子C隊 唐津東：野崎 茉奈 竹尾 愛

田久保 晶 浜中 彩代

監督：宮川 淳

・コース

7／4 開会式(小林市中央公民館)

ひなもりオートキャンプ場(泊)

7／5 ひなもりオートキャンプ場＝霧島神宮－

高千穂河原－高千穂峰－霧島東神社－

川＝ひなもりオートキャンプ場(泊)

7／6 ひなもりオートキャンプ場＝白鳥神社－

郷土の森－不動池－韓国岳－大浪池(西

まわり)－大浪池登山口＝京町温泉分宿

(泊)

7／7 閉会式(えびの市真幸地区体育館)

4日 監督リーダー会議後に開会式があり、その後、自然観察、天気図作成、医療審査、気象知識のペーパーテストが行われ、ひなもりオートキャンプ場に移動し、設営審査・炊事審査が行われました。

5日 登山行動1日目、4年前の霧島総体でも訪れた霧島神宮からのスタートで、高千穂河原から高千穂峰に登り、霧島東神社に下るコースである。曇ってはいたが、晴れてもいない状態で、高千穂河原に向かって登りました。そこから選手だけのチーム行動があり、先頭を急ぐチーム、中盤あたりで確実な歩きでアタックするチーム、息も絶え絶えで厳しいチームと様々な様子が展開されました。何とか高千穂山頂にゴールし、空を見上げると雨がポツポツと落ち始めてきた。ここからの雨は、恐怖のヒル地帯、各校とも下見で相当やられていたので、恐々とゴールである霧島東神社に向かいました。選手たちによるとこの日は、ヒルの被害は少なかったようでした。それは、宮崎県の役員と補助員の男子高校生数名が、大会得前にヒルが生息しそうな落ち葉をできるだけ吹き飛ばすなどの処理を行っていたそうです。ありがとうございました。バスに乗り込み、ひなもりオートキャンプ場に移動し、設営審査・炊事審査が行われました。

6日 登山行動3日目、バスで白鳥神社に向かい、そこから郷土の森を抜け、韓国岳を経て大浪池に向かうコースである。この日の天候も曇りから雨の予報で、予定通りのコースで行けるか、心配でした。郷土の森では、樹林地帯でいくらかの登りで、読図・体力・歩行などの審査も予定通り行い、不動池手前で昼食となった。空を見上げると、今にも雨が落ちてきそうな空模様で、大会本部は、選手の安全を考えて韓国岳からえびの高原にUターンしてもどって来るコースを採用しました。男子隊

がゴールするところに雨が降り始め、女子隊が下りるころは雨の中での行動となり、ずぶ濡れでえびの高原に下りてきました。そこからバスで宿舎である京町温泉の宿舎にそれぞれ分かれ、旅館での風呂・布団・食事となり、今までの疲れを十分に癒やせました。

7日 10時から、えびの市真幸地区体育館で閉会式となりました。男子は、長崎南高校が96.1点で優勝しました。佐賀工業が93.7点で3位、三養基が92.0点で4位と健闘しました。女子は、大村高校が98.6点で優勝しました。初出場となった唐津東は、91.1点で3位となり、男女ともに3校が上位に入ったことは、最近では見られない大きな健闘でした。

成績

男子 3位 佐賀工業 93.7点
4位 鳥栖工業 92.0点
女子 3位 唐津東 91.1点

第58回全国高等学校登山競技大会

- ・期 日 8月8日(金)～12日(火) (4泊5日)
- ・会 場 神奈川県 箱根山塊(金時山・三国山・神山)
- ・参加校 男子A隊 47校
女子B隊 46校
- ・出場校の選手・監督
男子A隊 佐賀工：下川 雄也 江頭 雄大
今泉 友佑 仁田原 樹
監督：末次 広人
女子B隊 佐賀北：野崎 茉奈 竹尾 愛
田久保 晶 浜中 彩代
監督：宮川 淳

・コース

- 8／8 開会式(レイクアリーナ箱根)
レイクアリーナ箱根 グラウンド(泊)
- 8／9 (男)幕営地＝早雲山－駒ヶ岳－神山－大涌谷分岐－大涌谷－姥子－幕営地(泊)
(女)幕営地＝乙女峠東側登山口(矢倉沢峠下林道までチーム行動)－乙女峠－金時山－矢倉沢峠－峠下林道－矢倉沢峠－火打石岳－明神ヶ岳－宮城野＝幕営地(泊)
- 8／10 (男)幕営地＝乙女峠東側登山口(矢倉峠下林道までチーム行動)－乙女峠－金時

山－矢倉沢峠－峠下林道－矢倉沢峠－火打石岳－明神ヶ岳－宮城野＝幕営地(泊)
(女)幕営地＝早雲山－駒ヶ岳－神山－大涌谷分岐－大涌谷－姥子－幕営地(泊)

- 8／11 (男)幕営地＝旧街道石畳…道の駅箱根峠…海ノ平…山伏峠…三国山…湖尻峠…芦ノ湖展望公園…湖尻水門…幕営地＝各宿舎(泊)
(女)幕営地＝…湖尻水門…芦ノ湖展望公園…湖尻峠旧…三国山…山伏峠…海ノ平…道の駅箱根峠…街道石畳～(船)～幕営地＝各宿舎(泊)

8／6 閉会式(竹田高等学校)

7日 12：30～専門委員長会議
15：30～監督リーダー会議

今年は、観光地である箱根を舞台に全国大会があり、専門委員長として参加しました。開会式が行われるレイクアリーナ箱根で専門委員長会議に出席し、監督リーダー会議を眺めながら、翌日からの登山行動に備えました。

8日 レイクアリーナ箱根で10時より開会式が行われました。登山隊編成後、自然観察、天気図作成、医療審査、気象知識のペーパーテストが行われました。各隊でコース隊が編成され、バスで幕営地に移動後、設営審査・炊事審査が行われました。

9日 登山行動1日目で、天候は曇りで、男子は早雲山から駒ヶ岳・大涌谷を経て、幕営地であるレイクアリーナ箱根まで、女子は乙女峠東登山口から選手だけのチーム行動で矢倉沢峠下林道まで向かい、そこから班行動で宮城野までの縦走が行われました。我々は、早雲山でスタートする男子隊を激励し、宮城野から逆走で金時山へ向かう途中で女子隊を激励し、金時山から下山しました。夕方からの雨で、選手たちはレイクアリーナ箱根に避難したが、女子隊は狭いサブアリーナを使うため、少々窮屈な生活となった。

10日 登山行動2日目で、その日は朝から雨模様となり、全行程中止となりました。下見を行った学校は、この日の山も経験できたでしょうが、残念な様子の学校もありました。ただ、メインアリーナでレクレーションを行い、男子女子ともに楽しく過ごした様子でした。

11日 登山行動最終日は、男子は年始の箱根駅伝往路のゴール地点である、元箱根から三国山を経て幕営地まで芦ノ湖西岸の登山道を縦走し、女子は男子の逆走で元

箱根に向かうコースで、我々は女子隊の後ろを縦走するコースでした。天候は曇りで、縦走路を振り返っても富士山は見え、ひたすら楽しみである海賊船に乗船できることを考え縦走していました。途中で男子隊とすれ違い激励し、休憩となりました。ただ、ここまで思った以上に時間をとり、船に間に合わないの、引き返すとの情報があり、女子隊は悲嘆に暮れていたが、本部役員のおかげで、次の便を何とかとることができ、女子隊全員がにこやかに、海賊船に乗ることができ、幕営地で、解散式を行い、それぞれの宿舎に戻りました。

12日10:00 閉会式

A隊の優勝は、長崎県の長崎北陽台高校で99.0点でした。佐賀工業が95.5点と昨年を上回る健闘で、19位となりました。B隊の優勝は、静岡県富士宮西高校で99.4点でした。唐津東も頑張りましたが、84.4点で、35位となりました。

成績

男子 19位 佐賀工業 95.5点
女子 35位 佐賀北 84.4点

第14回九州ブロックスポーツライミング選手権

- ・期 日 8月17日(日)
- ・会 場 熊本市
熊本県立総合体育館
- ・参加校 (男子) 佐賀工
(女子) 多久 佐賀女子
- ・参加者 男子7名 女子3名
- ・カテゴリー 高校生男子1ルート、女子1ルート

毎年、九州各県で持ち回りでの開催で、今年は熊本県で行われました。例年4月頃に行っている大会だが、準備の都合で8月に行われることとなりました。よって11月の佐賀県予選会の成績だけでなく、4月の国体予選等の成績をもとに、佐賀県から男女10名の選手が参加しました。今年は、小学校から続けている女子選手が高校生となり、男女がそろった初めての参加となりました。予選はなくリード1本の本選のなか、男子は、国体選手となった池田侑生(佐賀工2年)、福島慎也(佐賀工3年)が上位を占め、女子は、九州ではトップクラスとなる岸川弓子(多久1年)、渡島奈緒(多久1年)の1・2フィニッシュとなり、堂々の高校デビューを果たした。今後も上位に入るべく練習を行ってほしい。

成績

男子	池田 侑生(佐賀工2年)	34+	2位/24人
	福島 慎也(佐賀工3年)	31+	3位/24人
	小寺 遼(佐賀工3年)	30+	6位/24人
	中野 駿(佐賀工2年)	30+	6位/24人
	西村 直道(佐賀工3年)	30+	6位/24人
女子	岸川 弓子(多久高1年)	33+	1位/24人
	渡島 奈緒(多久高1年)	33+	2位/24人
	掛林 衿那(佐賀女1年)	18+	4位/24人

新人大会

- ・期 日 11月1日(土)・2日(日)(1泊2日)
- ・会 場 唐津市
十坊山・浮嶽山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工
唐津東 多久(5校)
(女子) 佐賀北 唐津東 多久(3校)
- ・参加者 男子46名 女子10名 計56名
- ・コース 1日 玉島小学校[開会式]
縦走競技:玉島小学校ー谷口登山口ー城山分岐ー南西登山道口ー大白木越ー十坊山ー大白木=旧七山小学校
医療審査、天気図審査
幕営審査等(旧七山小学校)[幕営]
2日 縦走競技:旧七山小学校=荒川峠ー女岳ー荒谷峠ー浮嶽ー白木峠ー大白木公民館[閉会式]

1日 唐津市玉島小学校に集合し、開会式後、ペーパーテストを経て、昼食後、玉島小学校を出発し、十坊山を目指し、大白木の集落をゴールとするコースで縦走競技を実施しました。途中、体力、歩行技術、読図の審査を行いました。縦走競技終了後、装備検査を行い、顧問の車で旧七山小学校に向かい、天気図審査、医療審査、幕営の審査を行いました。雨が降り出し、急遽、屋根があるところで炊事を行い、すべての審査が終了し、就寝となりました

2日 朝5時に起床し、前日同様の屋根があるところで炊事を行い、顧問の車で荒川峠に向かいましや。このコースは佐賀総体以来久しぶりのコースでした。天候は芳しくなく、荒川峠を出発していきました。女岳前後の登りや下りでの審査、読図審査、浮嶽までのきつい登りなど審査を行い、白木峠からは車に気を付けながら公民

館まで進み、装備検査を行い、閉会式となりました。

成績は、男子は2年ぶりに鳥栖工業が優勝し、以下佐賀工業が続きました。女子は佐賀北、多久が正式エントリーに届かず、唐津東Aが優勝しました。

総合成績

男子	1位	鳥栖工業A
	2位	佐賀工業A
	3位	佐賀工業D
女子	1位	唐津東A
	2位	唐津東B

第5回全国高等学校選抜クライミング選手権大会
佐賀県予選会

- ・期 日 11月3日(月)
- ・会 場 多久市
多久高校クライミングウォール
- ・参 加 校 (男子) 鳥栖工 佐賀工 多久 (3校)
(女子) 多久 佐賀女 (2校)
- ・参 加 者 男子 32名 女子 4名 計 36名
- ・カテゴリー エキスパート リード1ルート
ミドル リード1ルート

高体連共催になっている第5回全国高校生選抜クライミング選手権大会の予選を兼ねているため、男子については佐賀工3年生が1名参加し、総勢36名で大会が行われました。予定通り全国大会につながるエキスパートクラスと、競技を浸透させるためのミドルクラスを開催しました。エキスパートクラスには、日ごろから積極的に練習している佐賀工業の選手、今年から高校生になり活躍している多久・佐賀女の選手が出場し、ミドルクラスには、佐賀工業の下級生と多久・鳥栖工業の男子選手と多久の女子選手が出場しました。エキスパートクラスでは、国体選手となった福島慎也(佐賀工3年)優勝し、ミドルクラスでは、牧野内光(多久高2年)が2年連続で優勝しました。女子については、国体選手となった福島弓子(多久高1年)がエキスパートクラスのグレードで順調に力を発揮し優勝しました。

成績

男子	E1位	福島 慎也(佐賀工3年)
	E2位	中野 駿(佐賀工2年)
	E3位	池田 侑己(佐賀工2年)

	E 4 位	笠原 康平(佐賀工 2 年)
	M 1 位	牧野内 光(多久高 2 年)
	M 2 位	北島 侑起(佐賀工 2 年)
	M 3 位	桃崎 騎士(多久高 1 年)
女子	1 位	岸川 弓子(多久高 1 年)
	2 位	渡島 奈緒(多久高 1 年)
	3 位	掛林 衿那(佐賀女 1 年)

第5回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

- ・期 日 12月23日(火)・24日(水)
- ・会 場 埼玉県加須市
加須市民体育館
- ・参 加 校 (男子) 佐賀工
(女子) 多久
- ・参 加 者 男子 2名 女子 2名
- ・カテゴリー 高校生男子左右2ルート

高体連共催になり、11月のクライミング選手権の成績をもとに、佐賀県から男女4名の選手が参加しました。

男子は、昨年に引き続き、全国の壁は厚く、選手たちも懸命にトライしたが、予選ルートで敗退しました。

女子は、小学校からの経験があり、準決勝まで進み、今後が大いに期待できる大会となりました。

成績

男子	福島 慎也(佐賀工3年)
	Aルート 25+ Bルート 15+ 39位/104人
	中野 駿(佐賀工2年)
	Aルート 18 Bルート 15+ 54位/104人
	団体(上位2名の成績による団体戦)
	9位/31校
女子	岸川 弓子(多久高1年)
	Aルート 26+ Bルート 33 18位/84人
	準決勝 21+ 18位/26人
	渡島 奈緒(多久高1年)
	Aルート 26+ Bルート 28+ 21位/84人
	準決勝 17+ 23位/26人

団体(上位2名の成績による団体戦)

3位/21校

平成26年度 佐賀県高等学校総合体育大会登山大会審査集計表

大会山域 多良岳・経ヶ岳・虚空蔵山山系

日 程 平成26年5月30日～6月1日

	縦　　走					天気図	装備	計画書	記録	学科	設営 撤収	救急法	炊事	マナー	総合計	順位	備　考
	特　区		2日目	3日目	読図												
	時間点	完歩点															
A 1	13	2	11	6	9	9.5	6	4	4.5	7.85	5.5	4.92	5	5	93.27	2	三高A
A 2	0	0	9	5	8.5	8.9	5	5	3.5	5.55	5.5	3.84	4.5	4.5	68.79		鳥工A
A 3	0	2	1	5	0.5	0	1.5	1.5	0.5	3.20	2.5	4.44	4.5	5	31.64		多久A
A 4	15	2	11.5	6	9	9.5	5.5	4.5	5	6.95	6	4.92	5	5	95.87	1	佐工A
A 5	0	0	8.5	5	2	9.5	3	5	1.5	3.80	5.5	3.76	2.5	4	54.06		鳥工B
A 6	13	2	11.5	6	9	7.4	6	4.5	4	5.05	4.5	4.92	4	5	86.87		佐工C
A 7	0	2	12	5.5	5	7.9	5.5	4	3	5.92	5	4.76	4	5	69.58		三高B
B 1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2.40	0	0.00	0	0	4.40		多久B
B 2	3	2	11	5.5	6	7.6	3	4	2.5	4.80	5.5	4.76	5	5	69.66		佐工D
B 3	2	2	11.5	5.5	5	8	6	5	3	4.07	4	3.92	3.5	4.5	67.99		鳥工C
B 4	0	0	10.5	5.5	6	9	6	4.5	4.5	4.80	5.5	5.00	5	4.5	70.80		佐工B
B 5	0	2	6	4.2	2.5	4.3	4.5	4.5	2	3.64	5.5	5.00	3.5	5	52.64		佐工E
B 6	0	2	12	6	2	1.7	3	2.5	0.5	3.40	1	3.60	2	5	44.70		佐農A
B 7	5	2	12	6	3	4.7	3	2	0.5	5.00	1.5	2.76	2	5	54.46		佐北A
B 8	3	2	12	5	1	0	4	2.5	1	5.20	1	4.84	1	4.5	47.04		唐東A
B 9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2.40	0	0.00	0	0	4.40		多久C
C 1	15	2	12	6	7	7	5.5	2.5	4.5	6.90	5.5	3.92	5	5	87.82	1	唐東A
C 2	0	2	11	5.5	2	6.8	4	2	1.5	5.60	5	3.84	4	5	58.24	2	佐北A
C 3	0	2	10.5	5.5	0	0	2	2	0.5	2.25	4	5.00	3.5	5	42.25	3	多久A
C 4	0	2	0	0	0	0	1	2.5	1.5	5.10	0	2.00	3	5	22.10		唐東B
C 5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	2.20	0	0.00	0	0	7.20		多久B

1. 応急処置に当たって に関する文中に適する語句を、下から選んで解答欄に記号で答えよ。

- (1) 応急処置は (①) または救助者に引き継ぐまでの応急の手当である。
- (2) 処置者(救助者)が先ず冷静であること、平静さを取り戻すよう努める。
- (3) 処置者(救助者)が (②) に負傷等を負うことがないように、まず安全を確保する。
- (4) 自力での救助や脱出が難しい場合、速やかに (③) を集め、協力、あるいは救助を依頼する。
- (5) 傷病者(負傷者)の立場に立って様子を観察する(意識・(④)・脈・顔色・(⑤) など)。
- (6) 緊急性をより要する傷病者(負傷者)から処置をする。
- (7) 傷病者(負傷者)を安心させ、励まし力づける。
- (8) 可能な限り、(⑥) を残す(感冒等で内服薬を服用した場合なども)。
- (9) 原則として (⑦) は使用しない。

医薬品、呼吸、人、医師、記録、二次的、体温、看護師、気温

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

2. 応急処置の原則(RICE)に関する文中に適する語句を下から選んで解答欄に記号で答えよ。

- (1) Rest (①) は、傷病者(負傷者)を安全な場所に移して、(①) な体位にし、(②) [場合によっては加湿]、固定などの処置をすることである。
- (2) Ice (③) は、打撲・(④)、骨折、やけどなどの幹部を (③) することである。
- (3) Compression (⑤) は、(⑥)、テーピングテープなどで (⑤) することである。
- (4) Elevation (挙上) は、患部を (⑧) よりも高くすることで、腫れや痛みを和らげたり、を減らすことである。

心臓、圧迫、安静、冷却、包帯、挙上、保温、捻挫、出血、挙上

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

3. 止血法 に関する文中の空欄に当てはまる最も適当なものを下から選び解答欄に記号で答えよ。

- (1) 出血には2種類がある。(①) を破損した場合は、心臓の拍動によって血液が押し出され、(②) は困難である。(③) を破損した場合、比較的傷が小さく、出血量が少ないときは、出血部位を直接 (④) する。
- (2) 鼻出血(鼻血)は、叩打・打撲等の原因で起きることが多いが、のぼせ・(⑤) 等でも起きる。清潔なガーゼ等を鼻の穴に詰める等の (⑥) が有効である。止血に手間取るときは、仰向けにしないで、顔を前に突き出すようにして、口をあけた状態で血液が (⑦) に流れ込まないような姿勢を保つ。また顔面を (⑧) ことも有効である。

タンポン法、気道、冷やす、疲労、圧迫、静脈、動脈、止血、拍動

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

4. 次の問いに答えよ。

- (1) 右図のように、片方の手で額を押さえ、もう片方の人差し指と中指で顎を上を持ち上げる(頭部後屈あご先挙上法)。(ただし、頸椎(髄)損傷の疑いがある場合は下顎挙上法を行う) このようにすることを何というか。
- (2) 骨折の治療において患部が動かないよう外から固定・保護するために用いられる包帯材料を何というか。
- (3) 地面の上に仰向けに寝かせ、両方の乳首を結んだ線上の真ん中に、片方の手のひらの付け根を置き、もう一方の手はその上に重ねて、胸部を圧迫することを何というか。



(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

医薬品(効能書き・防水)

- (1) 鎮痛(解熱)剤 2人2日 (2) 虫さされ薬 (3) テーピングテープ

パーティ名	学校名	氏名	得点

1. 応急処置に当たって に関する文中に適する語句を、下から選んで解答欄に記号で答えよ。

- (1) 応急処置は (①) または救助者に引き継ぐまでの応急の手当である。
- (2) 処置者(救助者)が先ず冷静であること、平静さを取り戻すよう努める。
- (3) 処置者(救助者)が (②) に負傷等を負うことがないように、まず安全を確保する。
- (4) 自力での救助や脱出が難しい場合、速やかに (③) を集め、協力、あるいは救助を依頼する。
- (5) 傷病者(負傷者)の立場に立って様子を観察する(意識・(④)・脈・顔色・(⑤) など)。
- (6) 緊急性をより要する傷病者(負傷者)から処置をする。
- (7) 傷病者(負傷者)を安心させ、励まし力づける。
- (8) 可能な限り、(⑥) を残す(感冒等で内服薬を服用した場合なども)。
- (9) 原則として (⑦) は使用しない。

医薬品、呼吸、人、医師、記録、二次的、体温、看護師、気温

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
医師	二次的	人	呼吸	体温	記録	医薬品

2. 応急処置の原則 (R I C E) に関する文中に適する語句を下から選んで解答欄に記号で答えよ。

- (1) Rest (①) は、傷病者 (負傷者) を安全な場所に移して、(①) な体位にし、(②) [場合によっては加湿]、固定などの処置をすることである。
- (2) Ice (③) は、打撲・(④)、骨折、やけどなどの幹部を (③) することである。
- (3) Compression (⑤) は、(⑥)、テーピングテープなどで (⑤) することである。
- (4) Elevation (挙上) は、患部を (⑧) よりも高くすることで、腫れや痛みを和らげたり、を減らすことである。

心臓、圧迫、安静、冷却、包帯、挙上、保温、捻挫、出血、挙上

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
安静	保温	冷却	捻挫	圧迫	包帯	心臓

3. 止血法 に関する文中の空欄に当てはまる最も適当なものを下から選び解答欄に記号で答えよ。

- (1) 出血には2種類がある。(①) を破損した場合は、心臓の拍動によって血液が押し出され、(②) は困難である。(③) を破損した場合、比較的傷が小さく、出血量が少ないときは、出血部位を直接 (④) する。
- (2) 鼻出血 (鼻血) は、叩打・打撲等の原因で起きることが多いが、のぼせ・(⑤) 等でも起きる。清潔なガーゼ等を鼻の穴に詰める等の (⑥) が有効である。止血に手間取るときは、仰向けにしないで、顔を前に突き出すようにして、口をあけた状態で血液が (⑦) に流れ込まないような姿勢を保つ。また顔面を (⑧) ことも有効である。

タンポン法、気道、冷やす、疲労、圧迫、静脈、動脈、止血、拍動

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
動脈	止血	静脈	圧迫	疲労	タンポン法	気道	冷やす

4. 次の問いに答えよ。

- (1) 右図のように、片方の手で額を押さえ、もう片方の人差し指と中指で顎を 上 に持ち上げる (頭部後屈あご先挙上法)。(ただし、頸椎 (髄) 損傷の疑いがある場合は下顎挙上法を行う) このようにすることを何というか。
- (2) 骨折の治療において患部が動かないよう外から固定・保護するために用いられる包帯材料を何というか。
- (3) 地面の上に仰向けに寝かせ、両方の乳首を結んだ線上の真ん中に、片方の手のひらの付け根を置き、もう一方の手はその上に重ねて、胸部を圧迫することを何というか。



(1)	気道確保	(2)	ギプス	(3)	心臓マッサージ
-----	------	-----	-----	-----	---------

医薬品 (効能書き・防水)

- (1) 鎮痛 (解熱) 剤 2 人 2 日 (2) 虫さされ薬 (3) テーピングテープ

パーティ名	学校名	氏 名	得点

1 次の文中の(①)～(⑫)に適する語句を答えなさい。【0.5×24】

今年の県総体は、多良岳・(①)山系と(②)山で開催される。(①)は、佐賀県(③)市、長崎県(④)市、佐賀県太良町の2市1町に面している。また、(②)山の山頂は、長崎県東彼杵郡(⑤)町にある。

開始式後、今考えている自然観察課題がある。昼食後、特区が行われる。特区の時間点は1位のパーティを15点とし、これより1分遅れるごとに(⑥)点減点で配点される。今大会では、中山キャンプ場をスタートし、(⑦)地蔵を経由して、多良岳がゴールとなる。この特区間の高度差は、約(⑧)mである。ゴール後(⑨)行動で(⑩)寺に向かう。この付近の斜面に7月～8月頃、オレンジ色の花をつける(⑪)が群生している。そこから(⑫)行動で、中山キャンプ場に戻る。その後、天気図審査、幕営審査が行われる。

2日目は、(⑬)時半に起床し、隊行動で、中山越、(⑭)越を通過して、佐賀県の最高峰である(①)に登る。(①)の標高は、(⑮)mである。山頂から、有明海をはさんで南東方向に見えるのが、(⑯)岳である。経ヶ岳を下って、尾根上を西に進む。4月～5月頃淡いピンクの花を咲かせるツクシ(⑰)が咲いている。長崎県側からのルートの分岐である(⑱)を通過して、(⑲)山で昼食となる。その後(⑳)越を通過する。(㉑)谷がゴールである。近くに(㉒)温泉がある。その後車で幕営地の広川原キャンプ場に向かう。

3日目は7時に広川原キャンプ場を出発し、(㉓)バス停から、隊行動で(②)山へと登る。標高は、(㉔)mである。閉会式は嬉野市公会堂で行われる。

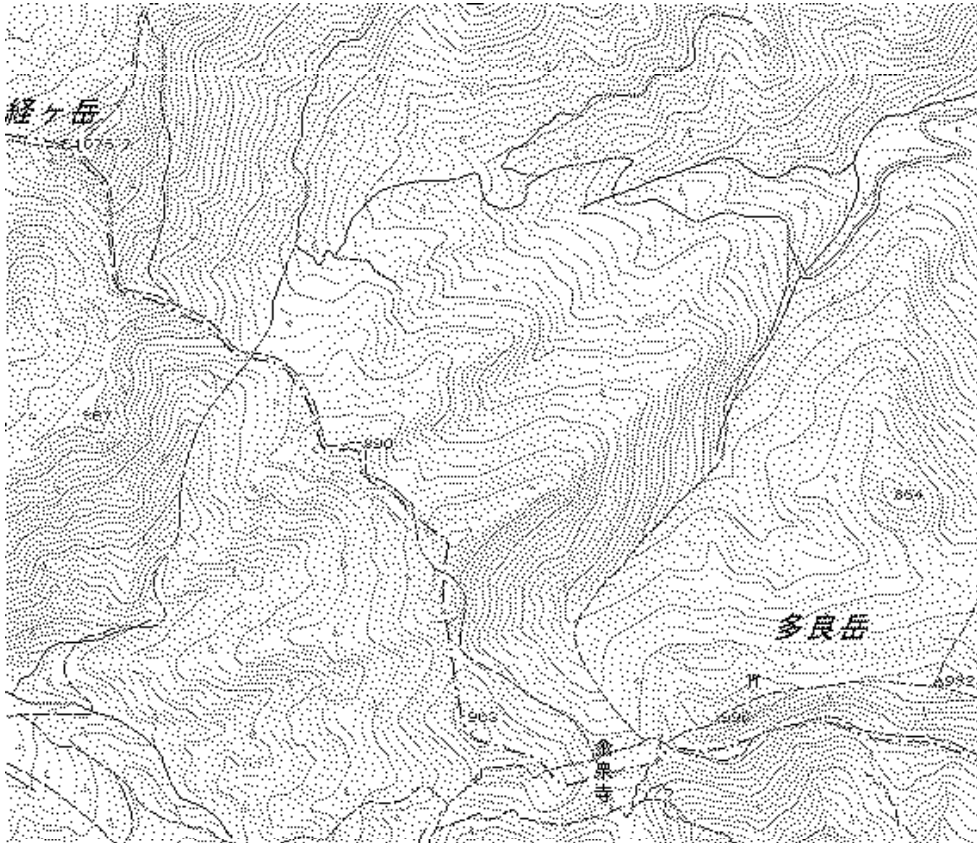
2 気象についての設問です。次の問に答えなさい。【0.5×12】

- (1)梅雨時期に、日本付近に停滞する前線は、(①)前線の一種である。この前線は(②)気団と南の(③)気団との力のつり合いによって形成される。この前線上を小さな(④)が西から東へ移動し悪天候をもたらす。
- (2)風速により台風と熱帯低気圧が区別される。中心付近の最大風速が毎秒(⑤)m以上になった低気圧を台風という。台風の風速は、進行方向の(⑥)側より(⑦)側が強い。
- (3)地表から高度約11kmまで、普通は高度1,000mにつき(⑧)℃低下する。
- (4)体感温度は、一般的に風速1メートル毎秒につき1℃低くなると言われているが、リンケの式では、風速4メートル毎秒のとき、体感温度は(⑨)℃下がる。
- (6)寒冷前線は、寒気団の勢力が強く、暖気団の下に潜り込んで暖気団を押し上げながら進み、急激な上昇気流となつて雄大積雲や(⑩)雲を発生させ雨を降らせる。この前線が接近すると雷鳴を聞くことがある。移動速度が(⑪)、雨の区域は(⑫)、にわか雨である。雷や突風をとまなうこともあり、時にはひょうやあられを降らせる。通過後は急に気温が下がり、風向も変わる。

語群：小笠原、オホーツク、低気圧、高気圧、17、18、19、5.5、6.5、7.5、4.0、6.0、8.0 停滞、温暖、右、左 閉塞、寒冷、高層、積乱、乱層、速い、遅い、狭い、広い

裏へ続く→

3 地形図についての設問です。次の問に答えなさい。【0.5×14】

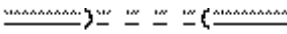


(1) 上の地図の以下の地点に×1～5を書きなさい

- ① 特区間のスタート地点に×1
- ② 特区間のゴール地点に×2
- ③ 特区間で進行方向東から西へ変わる地点に×3
- ④ 中山越に×4
- ⑤ 標高950mのピークに×5

(2) 次の問いに答えよ。

- ① ×4 中山越の標高
- ② 金泉寺は、経ヶ岳山頂から見たらどの方向か。八方位で。
- ③ ×5 の名前

(3) 次の地図記号は何か答えよ。 ① ㏸ ②  ③  ④ 

(4) この国土地理院の25000分1地図の名前は何か。

(5) この地図での主曲線は何メートル間隔かを答えよ。

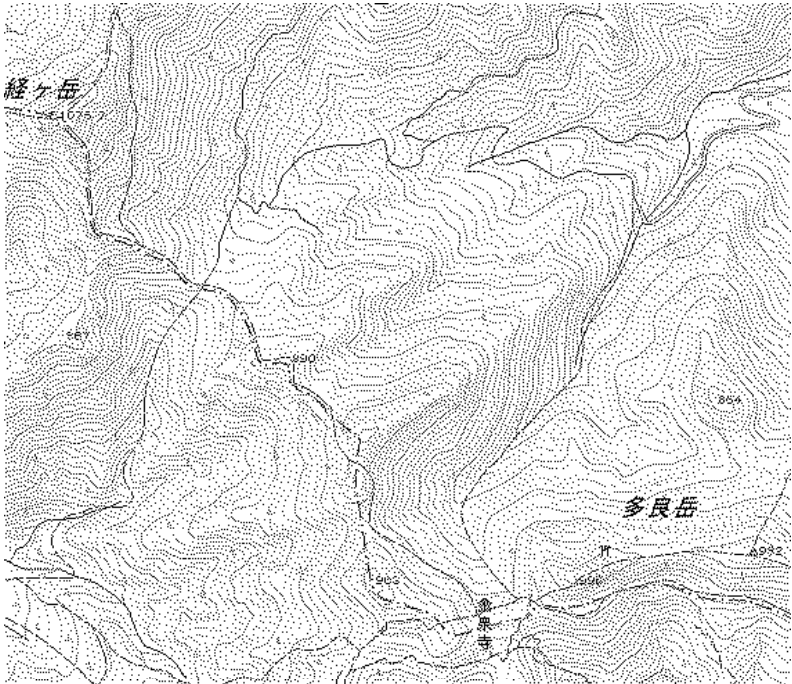
1 【0.5×24】

①	② 山	③ 市	④ 市
⑤ 町	⑥ 点	⑦ 地藏	⑧ m
⑨	⑩ 寺	⑪	⑫
⑬ 時半	⑭ 越	⑮ m	⑯ 岳
⑰ ツクシ	⑱	⑲ 山	⑳ 越
㉑ 谷	㉒ 温泉	㉓ バス停	㉔ m

2 【0.5×12】

① 前線	② 気団	③ 気団	④
⑤ m以上	⑥	⑦	⑧ ℃
⑨ ℃	⑩ 雲	⑪	⑫

3 【0.5×14】 (1)



(2)

①	m
②	
③	

(3)

①
②
③
④

(4)

(5)

	m
--	---

パーティ名	学校名	氏 名	得点

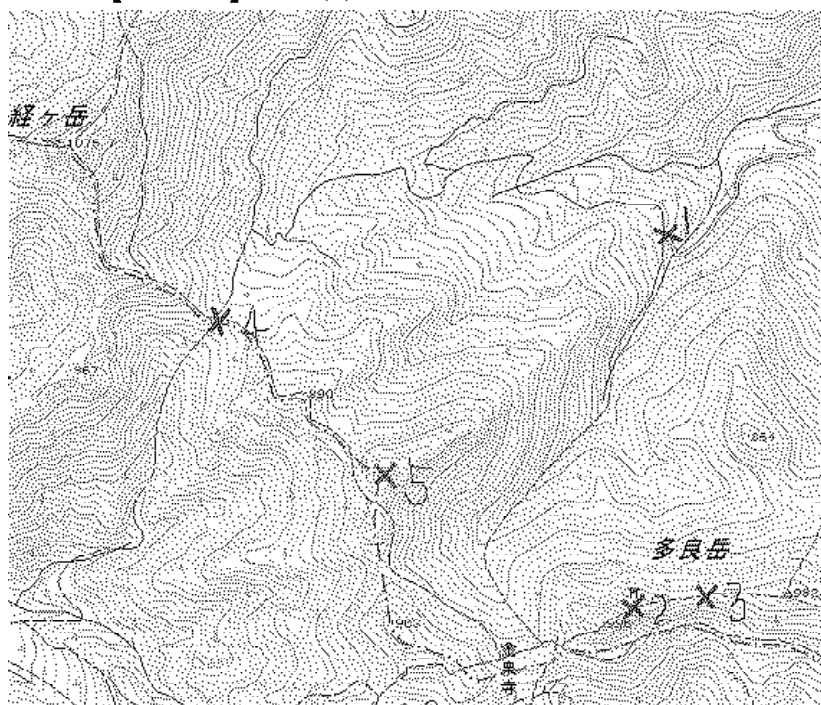
1 【0.5×24】

① 経ヶ岳	② 虚空蔵 山	③ 鹿島 市	④ 大村 市
⑤ 川棚 町	⑥ 1 点	⑦ 六体 地蔵	⑧ $430 \pm 10\text{m}$ $980-550=430\text{m}$
⑨ パーティー	⑩ 金泉 寺	⑪ オオキツネノカミソリ	⑫ 隊
⑬ 4 時半	⑭ 平谷 越	⑮ 1075.7m (1076m)	⑯ 雲仙 岳
⑰ ツクシシャクナゲ	⑱ つげ尾	⑲ 釜伏 山	⑳ 岩屋 越
㉑ 奥平 谷	㉒ 平谷 温泉	㉓ 不動山 バス停	㉔ 608.5m (609m)

2 【0.5×12】

① 停滞 前線	② オホーツク 気団	③ 小笠原 気団	④ 低気圧
⑤ 17 m以上	⑥ 左	⑦ 右	⑧ 6.5°C
⑨ 8°C	⑩ 積乱 雲	⑪ 速く	⑫ 狭い

3 【0.5×14】 (1)



(2)

① $730 \pm 10\text{m}$
② 南東
③ 笹ヶ岳

(3)

① 神 社
② 広葉樹林
③ (写真測量による) 標高点
④ トンネル

(4)

多良岳	10 m
-----	------

(5)

パーティ名	学校名	氏 名	得点

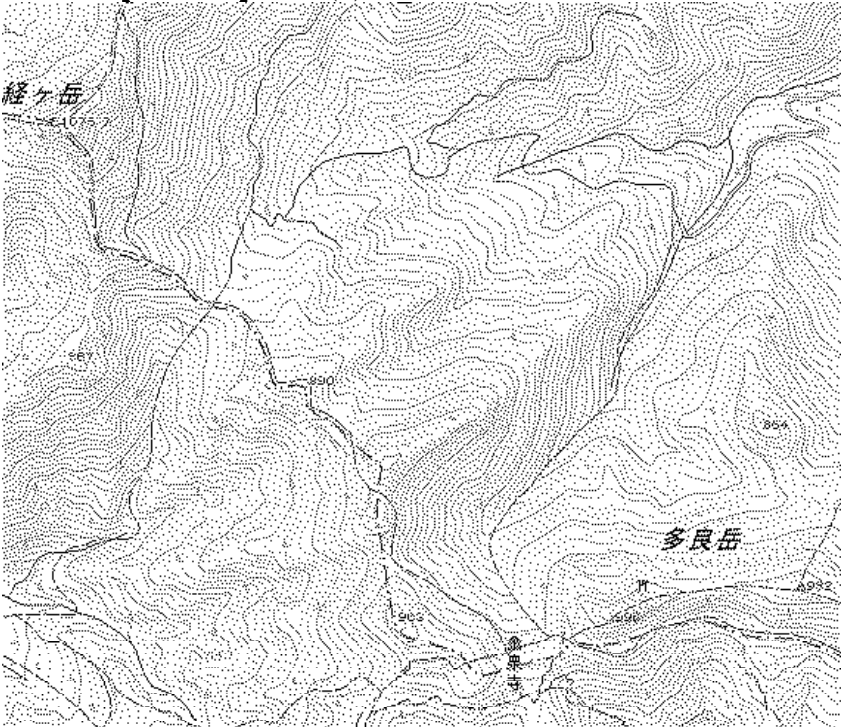
1 【0.5×24】

① 経ヶ岳	② 虚空蔵 山	③ 鹿島 市	④ 大村 市
⑤ 川棚 町	⑥ 1 点	⑦ 六体 地蔵	⑧ 430±10m 980-550=430m
⑨ パーティー	⑩ 金泉 寺	⑪ オオキツネノカミソリ	⑫ 隊
⑬ 4 時半	⑭ 平谷 越	⑮ 1075.7m (1076m)	⑯ 雲仙 岳
⑰ ツクシシャクナゲ	⑱ つげ尾	⑲ 釜伏 山	⑳ 岩屋 越
㉑ 奥平 谷	㉒ 平谷 温泉	㉓ 不動山 バス停	㉔ 608.5m (609m)

2 【0.5×12】

① 停滞 前線	② オホーツク 気団	③ 小笠原 気団	④ 低気圧
⑤ 17 m以上	⑥ 左	⑦ 右	⑧ 6.5℃
⑨ 8 ℃	⑩ 積乱 雲	⑪ 速く	⑫ 狭い

3 【0.5×14】 (1)



(2)

① 730±10m
② 南東
③ 笹ヶ岳

(3)

① 神 社
② 広葉樹林
③(写真測量による) 標高点
④ トンネル

(4)

(5)

多良岳	10m
-----	-----

パーティ名	学校名	氏 名	得点

平成26年度 佐賀県高等学校体育連盟登山専門部 新人大会 審査集計表

十坊山・浮嶽山系

	縦　　走			縦　　走			天 気 図	装 備	計 画 書	記 録	学 科	設 営 ・ 撤 収	救 急 法	炊 事	マ ナ ー	総 合 計	順 位	備 考
	1 日 目			2 日 目														
	力体	行歩	図読	力体	行歩	図読												
	10	5	6	10	5	10												
A 1	10	5	4	10	4	8.8	3.85	10	6	3.5	8.06	7	4.70	5	2	91.91	2	佐工 A
A 2	7.5	4	2.4	8	2	1.6	3.25	9	6	3	7.00	6	4.40	5	1	70.15		鳥工 B
A 3	8.8	5	0.8	8	1	0	0.75	6	4.2	0	3.69	4	2.00	4	1.8	50.04		多久 C
A 4	10	5	5.6	10	4	6.4	4.1	10	6	4	8.75	7	5.00	5	2	92.85	1	鳥工 A
A 5	10	5	2.4	10	4	0.8	3.25	7	6	2.5	7.31	5.5	4.10	5	1	73.86		鳥工 C
A 6	10	5	4.8	9	3	8	3.6	10	6	2.5	7.06	6	3.80	5	1.8	85.56	3	佐工 D
A 7	8.8	3	3.2	8	3	9.6	3.5	10	6	2.5	5.95	6	4.10	5	0.8	79.45		佐工 C
A 8	8.8	5	0.8	8	1	0.8	2.8	7	4.2	1.5	5.06	7	3.20	5	1.5	61.66		多久 A
A 9	10	5	2.4	10	2	0	2.45	8	4.2	2	5.19	3	3.00	5	2	64.24		多久 B
A 1 0	8.8	4	3.2	10	3	9.6	3.45	10	6	2.5	7.50	6	4.10	5	2	85.15		佐工 B
A 1 1	10	5	4	10	3	4.8	3.9	9	6	3	7.75	5	4.10	5	2	82.55		三高 B
A 1 2																		
A 1 3	10	5	0	10	2	0	0.1	5.5	4.8	1.5	6.25	2	1.50	4	2	54.65		唐東 A
A 1 4	10	5	3.2	10	2	3.2	1.45	7	2.4	1	7.25	3	4.70	5	1	66.20		佐北 A
B 1	10	5	4.8	10	5	8	3.25	10	5.4	3	8.42	6.5	3.50	3	2	87.87	1	唐東 A
B 2	10	5	2.4	6	4	6.4	2.05	8	5.4	2	7.58	3.5	3.50	3.5	2	71.33	2	唐東 B
B 3	2.5	3	2.4	2	1	2.4	0.55	5	1.8	0.5	7.00	4.5	4.40	3.5	2	42.55		佐北 A
B 4	7.5	0	0	0	0	0	0	1	0	0.5	4.63	0	0.00	0	0	13.63		多久 A

平成 26 年度佐賀県高体連登山部新人大会 救急課題

1. 次の文章は熱傷に関する記述である。文中の（ ）に適する語句・数値を下から選べ。【0.2×5】

現在の重症度判定基準は面積、深度、年齢、部位を判定因子としている。重傷熱傷とは、一般にⅡ度以上の熱傷受傷面積が、成人で体表面の30%以上と定義されている。

Ⅱ度熱傷の場合、傷が真皮層の中間までのもので、皮膚が赤く腫れ、強い痛みを感じる。

手当のポイントは「（ ① ）」である。目的は（ ② ）と腫れの軽減である。水道水によるものが最も良く、（ ③ ）分前後行くと良いとされる。しかし、幼小児や高齢者の広範囲熱傷は、しすぎると容易に（ ④ ）になるため注意が必要である。着衣の上から熱傷をした場合は、無理に着衣を脱がさず、そのまま水をかけて冷やす。着衣が皮膚に付着した場合は、とれる分だけをはさみなどで切り取る。水疱は傷口を保護する効果を持っている。水疱は（ ⑤ ）、きれいなガーゼで覆い、民間療法はせずに医療機関で受診する。

ア, 安静	イ, 冷却	ウ, 圧迫	エ, 挙上	オ, 止血	カ, 鎮痛	キ, 10
ク, 30	ケ, 60	コ, 高体温	サ, 低体温	シ, ハサミなどで開き	ス, 破らず	

①	②	③	④	⑤

2. 次の文章は、骨折に関する記述である。文中の（ ）に適する語句・数値を下から選べ。

また、（6）の具体例として本大会会場で使用可能なものを一つ答えよ。

【0.2×5, 0.3×1】

骨折とは骨組織の連続性がたたれている状態である。骨折部に一致して疼痛、圧縮、腫脹、皮下出血などを認める。

「（ ① ）骨折」とは閉鎖骨折で皮膚の下で骨が折れ、皮膚に損傷がない状態をいう。「（ ② ）骨折」とは骨折とともに皮膚、皮下組織が損傷し、骨折部が露出した開放性の骨折をいい、感染が起りやすくまた治りにくい。

また、「（ ③ ）骨折」、「（ ④ ）骨折」と分けられる。前者は骨が完全に折れている場合、後者は骨にひびが入った状態である。

（ ④ ）骨折では変形や骨折端どうしが擦れ合う音である軋轢音などを認める。骨折に伴い神経、血管、筋肉、腱に損傷を合併することがあり、ショックなど全身状態に注意することも必要である。

【応急手当】

手当のポイントは骨折部を「（ ⑤ ）」ことである。骨折部を（ ⑤ ）ように、⑥副子を用いるが、この際決して整復は行わない。皮膚の損傷がひどいときは、傷と出血の手当を行う。皮膚を突出している骨は戻さない。

ア, 完全	イ, 不完全	ウ, 複雑	エ, 単純	オ, 動かさない	カ, つなげる
-------	--------	-------	-------	----------	---------

①	②	③	④	⑤	⑥

3. 次の記述について 正しいものには○を間違っているものには×を（ ）に書きなさい。【0.3×3】

- （ ） 心肺蘇生を行う場合、心臓マッサージ30回に対して人工呼吸2回の割合が基本である。
- （ ） まむしにかまれた場合、直ちに吸引器または口で毒を吸い出し、傷口の心臓に近い側を縛る。
- （ ） 脱水症を防止するための水分補給のための飲料として、お茶は大変適している。

4. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.6×3】

三角巾 （ ） 解熱・鎮痛剤：期限内 （ ） 消毒薬：期限内 （ ）

パーティ名	学校名	氏 名	得点

平成26年度佐賀県高体連登山部新人大会 救急課題

1. 次の文章は熱傷に関する記述である。文中の（ ）に適する語句・数値を下から選べ。【0.2×5】

現在の重症度判定基準は面積、深度、年齢、部位を判定因子としている。重傷熱傷とは、一般にⅡ度以上の熱傷受傷面積が、成人で体表面の30%以上と定義されている。

Ⅱ度熱傷の場合、傷が真皮層の中間までのもので、皮膚が赤く腫れ、強い痛みを感じる。

手当のポイントは「（ ① ）」である。目的は（ ② ）と腫れの軽減である。水道水によるものが最も良く、（ ③ ）分前後行くと良いとされる。しかし、幼小児や高齢者の広範囲熱傷は、しすぎると容易に（ ④ ）になるため注意が必要である。着衣の上から熱傷をした場合は、無理に着衣を脱がさず、そのまま水をかけて冷やす。着衣が皮膚に付着した場合は、とれる分だけをはさみなどで切り取る。水疱は傷口を保護する効果を持っている。水疱は（ ⑤ ）、きれいなガーゼで覆い、民間療法はせずに医療機関で受診する。

ア、安静 イ、冷却 ウ、圧迫 エ、挙上 オ、止血 カ、鎮痛 キ、10
ク、30 ケ、60 コ、高体温 サ、低体温 シ、ハサミなどで開き ス、破らず

①	②	③	④	⑤
イ	カ	キ(ク)	サ	ス

2. 次の文章は、骨折に関する記述である。文中の（ ）に適する語句・数値を下から選べ。

また、（6）の具体例として本大会会場で使用可能なものを一つ答えよ。【0.2×5, 0.3×1】

骨折とは骨組織の連続性がたたれている状態である。骨折部に一致して疼痛、圧縮、腫脹、皮下出血などを認める。

「（ ① ）骨折」とは閉鎖骨折で皮膚の下で骨が折れ、皮膚に損傷がない状態をいう。「（ ② ）骨折」とは骨折とともに皮膚、皮下組織が損傷し、骨折部が露出した開放性の骨折をいい、感染が起こりやすくまた治りにくい。

また、「（ ③ ）骨折」、「（ ④ ）骨折」と分けられる。前者は骨が完全に折れている場合、後者は骨にひびが入った状態である。

（ ④ ）骨折では変形や骨折端どうしが擦れ合う音である軋轢音などを認める。骨折に伴い神経、血管、筋肉、腱に損傷を合併することがあり、ショックなど全身状態に注意することも必要である。

【応急手当】

手当のポイントは骨折部を「（ ⑤ ）」ことである。骨折部を（ ⑤ ）ように、⑥副子を用いるが、この際決して整復は行わない。皮膚の損傷がひどいときは、傷と出血の手当を行う。皮膚を突出している骨は戻さない。

ア、完全 イ、不完全 ウ、複雑 エ、単純 オ、動かさない カ、つなげる

①	②	③	④	⑤	⑥
エ	ウ	ア	イ	オ	段ボール、折りたたみ傘、板きれ、雑誌など

3. 次の記述について 正しいものには○を間違っているものには×を（ ）に書きなさい。【0.3×3】

- （ ○ ） 心肺蘇生を行う場合、心臓マッサージ30回に対して人工呼吸2回の割合が基本である。
 （ × ） まむしにかまれた場合、直ちに吸引器または口で毒を吸い出し、傷口の心臓に近い側を縛る。
 （ × ） 脱水症を防止するための水分補給のための飲料として、お茶は大変適している。

4. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.6×3】

三角巾（ ） 解熱・鎮痛剤：期限内（ ） 消毒薬：期限内（ ）

パーティ名	学校名	氏 名	得点

平成26年度佐賀県高体連登山専門部新人大会 課題

1 次の文中の (①) ～ (⑬) に入る適切な語句を答えよ。【0.5×15】

今大会は、唐津市を主会場として開催される。2万5千分の1地形図の名称は、「(①)」と「雷山)」である。

1日目は、唐津市 (②) 小学校で開始式が行われ、その後ペーパーテスト、昼食の後、縦走が行われる。谷口登山口から (③) 分岐を経て南西登山道を上り、この日の最高標高の十坊山 (④) m に至る。十坊山からは南登山道を下り (⑤) 地区がゴールとなる。縦走終了後は、車で旧 (⑥) 小学校に移動する。ここでは、(⑦)、天気図及び設営審査などが行われる。

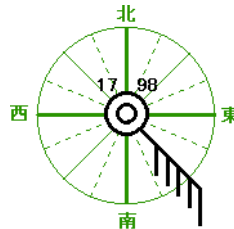
2日目は、(⑧) 時に起床し、6時30分に集合する。幕営地から縦走スタート地点まで車で移動する。1日目、2日目ともに縦走中 (⑨) 審査が行われる。

2日目縦走ルートについて、下表の (⑩) ～ (⑭) に入る適切な地名・数値を答えよ。

地点名	(⑩) 峠	→	女岳	→	(⑫) 峠	→	浮嶽	→	白木峠
標高(m)	約 570m		(⑪) m		約 540m		(⑬) m		(⑭) m

2 次の問いに答えなさい。【0.5×14】

(1) 次の地点の風向、風力、天気、気温、および気圧を書け。



(2) 次の地図記号の名称を答えよ。



(3) 大会地図で浮嶽から白木峠までの直線距離は約8 cmだった。実際の直線距離は約何mか。

3 前線についての次の文章の空所に入る適語を記号で答えよ。【0.5×12】

暖かい空気と冷たい空気が接したとき、すぐには混じり合わないで、境目を作ります。この境目が、前線面で、その前線面が地上と接したところが前線です。寒冷前線では、冷たい空気（寒気）の方が暖かい空気（暖気）より勢いが強い場合、冷たい空気が暖かい空気を押し上げながら下に潜り込んで進みます。冷たい空気が暖かい空気の下にもぐり込む場合、前線面は、丸くなり暖かい空気を (①) 押し上げます。押し上げられた空気は、冷えて (②) 雲をつくります。この雲は、たてに成長した幅が (③) 雲なので、大粒の (④) 雨を (⑤) 時間降させます。

また、寒冷前線が通過すると、風向きが変わり、気温が (⑥) ます。温暖前線で、暖かい空気の方が冷たい空気より勢いが強い場合、暖かい空気が冷たい空気の上を滑るように上昇しながら進んでいきます。暖かい空気が冷たい空気の上を滑るように上昇する場合、前線面は、斜め横に広がり、暖かい空気が (⑦) 上昇します。この空気は、後方の前線近くに層状の (⑧) 雲を作ります。この雲は、幅が (⑨) 雲なので、(⑩) 雨が (⑪) 時間降り続くことになります。

また、温暖前線が通過すると、冷たい空気から暖かい空気に切り替わるので、気温が (⑫) ます。さらに、冷たい空気の領域の風向きから暖かい空気の領域の風向きに変わるので、風向きも変わります。

ア 長、	イ 短、	ウ 急激に、	エ ゆっくり、	オ 狭い、
カ 広い、	キ 積乱、	ク 乱層、	ケ 上がり、	コ 下がり、
サ 小、	シ 激しい			

平成26年度佐賀県高体連登山専門部新人大会 課題 解答用紙

1 【0.25×14】

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	

2 【0.25×14】

(1)	風向	風力	天気	気温 ℃	気圧 hPa
(2)	①	②	③	④	
	⑤	⑥	⑦	⑧	
(3)	約 m				

3 【0.25×12】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫

パーティ名	学校名	氏 名	得点

平成26年度佐賀県高体連登山専門部新人大会 課題 **解答例**

1 【0.25×14】

① 浜崎	② 玉島	③ 城山	④ 535.4	⑤ 大白木
⑥ 七山	⑦ 医療	⑧ 5	⑨ 読図	⑩ 荒川
⑪ 748	⑫ 荒谷	⑬ 605.2	⑭ 369.6	

2 【0.25×14】

(1)	風向 南東	風力 5	天気 くもり	気温 17℃	気圧 998 hPa
(2)	① 神社	② 三角点	③ 記念碑	④ 果樹園	
	⑤ 広葉樹林	⑥ 針葉樹林	⑦ 荒地	⑧ (土の) がけ	
(3)	約2000m				

3 【0.25×12】

① ウ	② キ	③ オ	④ シ
⑤ イ	⑥ コ	⑦ エ	⑧ ク
⑨ カ	⑩ サ	⑪ ア	⑫ ケ

パーティ名	学校名	氏名	得点